

広告美術仕上げ学科試験例題

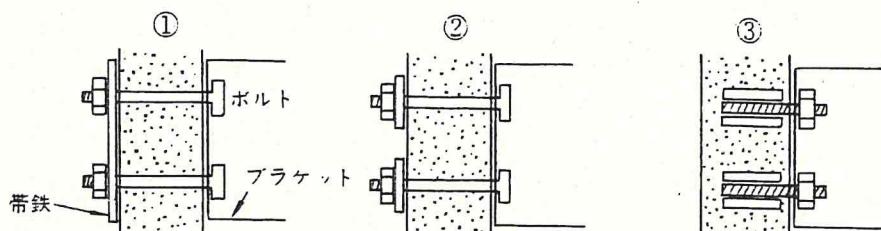
共通問題A - 施工法・材料

- 【問 1】 設計製図に用いる線の種類は、通常つぎの4種類である。 []
実 線 _____ 破 線
一点鎖線 ----- 二点鎖線 -----
- 【問 2】 設計図面では、物体の外形線と寸法線をいずれも破線で書く。 []
- 【問 3】 透視図における消失点の位置は、1点透視図の場合も、2点透視図の場合も必ず水平線上にくる。 []
- 【問 4】 下記に示す記号と解説の組み合わせは、すべて正しい。 []
① $\phi 9$ - 半径 9mm ② R600 - 直径 600mm ③ □30 - 30mm角
- 【問 5】 デザイン全体を直接大形広告に拡大する方法としては、次のうち(1)が適する。 []
(1) 方眼拡大 (2) 用品拡大 (3) 投影拡大
- 【問 6】 図面に F C L 40W と記入されている照明器具の記号は、40Wのサークラインを取り付けることを示したものである。 []
- 【問 7】 つぎの塗料記号と説明の関係はすべて正しい。 []
1. S. O. P 合成樹脂塗料 2. O. P 油性ペイント
3. O. S オイルステイン
- 【問 8】 日本農林規格 (J A S) に規定されている普通合板には、1類、2類および3類の3種類がある。 []
- 【問 9】 蛍光灯の管球記号は下記はすべて正しい。 []
① F L - 40 - W 40W白色
② F L - 40WW - A 40W温白色
③ F L - 40 - D L 40W天然白色
④ F L - 40 - D 40W昼光色
⑤ F L - 40 - D - D L 40W天然昼光色
- 【問 10】 亜鉛鉄板の番手の数は、その厚さに比例して小さくなる。 []
- 【問 11】 アクリル及び非鉄金属材に、デッサン及びレイアウトする場合、ダーマットを使用するとよい。 []
- 【問 12】 ベニヤ板を張った広告面の継ぎ目を隠す場合の目張りは、べた張りより袋張りのほうがよい。 []

- 【問 13】 板材を止める釘の長さは、板厚の1.5倍ぐらいを標準とする。 []
- 【問 14】 色合わせを行う場合、見本の色をあまり長く見つめていると、その色を正確につかみにくくなる。 []
- 【問 15】 発泡スチロールに、紙をはり、漂白ニスを塗れば、ラッカー塗装ができる。 []
- 【問 16】 新しい波型石綿スレート板に文字を書く場合、次のうち①が最も適している。
①油性調合ペイント ②塩化ビニル樹脂ペイント
③合成樹脂エマルジョンペイント []
- 【問 17】 20m²の鉄板面を塗るのに必要な油性塗料は、1ℓあればじゅうぶんである。 []
- 【問 18】 油性塗料の塗面のつやを消すのに溶剤としてガソリンを使うと、塗面の耐久力が増す。 []
- 【問 19】 紙のA判サイズはB判サイズより大きい。 []
- 【問 20】 紙類を張る作業で急ぐときには、板面のほうにのりをつけるとよい。 []
- 【問 21】 写真パネルに写真を張る作業では、写真を水伸ばししてから、のりをつけるとよい。 []
- 【問 22】 ペーパーセメントを使用し原稿用紙を貼る場合は、乾かないうちにすぐ貼るとよい。 []
- 【問 23】 木彫広告板の材料として最も適しているのは次の(3)である。
(1) けやき (2) ひのき (3) かつら []
- 【問 24】 木製切抜き文字は、木裏が文字の表面になるように木取るのがよい。 []
- 【問 25】 次の金属文字の表面仕上げで、メッキ仕上げは①と②である。
①ホワイト ②銅古美 ③赤銅 ④ミガキ金 []
- 【問 26】 ネームプレート板の材としては真ちゅう板より銅板のほうが適している。 []
- 【問 27】 真ちゅう製切抜き文字は、金めっきしたものより本金箔(きんぱく)押し仕上げしたもののが耐久性がある。 []
- 【問 28】 チャンネル文字と凸(とつ)文字とは同一浮出し文字である。 []
- 【問 29】 一般に箱文字の正面と側面の色は違えたほうが見やすい。 []

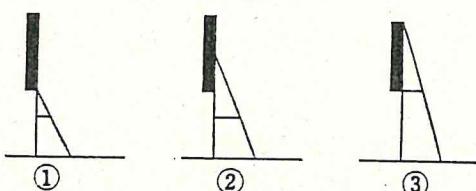
- 【問 30】 ガラス面のセロハン加工には、ゼラチンより、ふのりのほうがしっとりと付着がよい。 []
- 【問 31】 ガラス面のセロハン張りのときに生ずる気泡（ふくれ）は、張り面が乾燥すると自然にガラス面に密着して消える。 []
- 【問 32】 ガラス面の金ばく文字加工の裏止めは、合成樹脂ペイントよりブロンズ液で溶いた金粉を用いたほうがよい。 []
- 【問 33】 スクリーンプロセス印刷は、曲面には出来ない。 []
- 【問 34】 スクリーンプロセス印刷のための原稿は、反転された図柄をかく必要がある。 []
- 【問 35】 スクリーンプロセス印刷で、スクリーンの「メッシュ」とは、織り込まれたスクリーンの目の細かさをいう。 []
- 【問 36】 スクリーンプロセス印刷の成型広告板は、成型前の平板に印刷する。 []
- 【問 37】 スクリーンプロセス印刷で、水性インキを使用する場合、ニス原紙製版では耐水補強液を塗らなくてはならない。 []
- 【問 38】 偏光サインとは、テクナメーションのことである。 []
- 【問 39】 シートポスター広告板の広告面は、大量生産できるものの耐久性が小さいのが欠点である。 []
- 【問 40】 ネオンサインに使用するネオン管にはガスが封入されているが、一般に、放電すると赤い色を発するものを「ネオンガス」といい、青い色を発するものを「アルゴンガス」という。 []
- 【問 41】 ネオンサイン広告板は、透過サインによるものより直射サインによるもののが遠望がきく。 []
- 【問 42】 亜鉛メッキポールを運搬中その他で傷ついた場合には、ローバルで補修するといい。 []
- 【問 43】 照明広告板を取り付ける場合、照明器具が防水けい光灯であっても木台をつけて取り付けるほうがよい。 []
- 【問 44】 突出し広告板の振止め材は、壁面と広告板との平面（投影）角度が90度になるように取り付けると最も強い。 []

【問 45】 発泡コンクリート等の軟らかい壁体に、広告物を取付ける方法としては、次のうち①が最適である。 []



【問 46】 野立広告板のひかえ材（補強支柱）開き角度は 35° ぐらいが適当である。 []

【問 47】 建植広告板の控え斜材の取付け方法は、下図のうち①が正しい。 []



【問 48】 建植広告板の丸太支柱の根がらみ（かんざし）は、広告板面と平行になるように取り付けるのがよい。 []

【問 49】 動力回転式広告板は、動的で面に受ける風圧が小さいから回転しない広告板より強固でなくてもよい。 []

【問 50】 力の三要素は分力、合力、反力である。 []

【問 51】 スパナーでナットを締める時、スパナーの柄を2倍の長さにすると、回す力は半分の力で済む。 []

【問 52】 材料自身の強さに関係なく、細い、長いによって変形してしまう現象を座屈という。 []

【問 53】 拘束された構造物に外力が加わると、それを構成している部材に応力が生ずる。 []

【問 54】 同じ断面積ならば、断面形状を変えても、その強度は変わらない。 []

【問 55】 4週強度とは、コンクリートを打込んだ日から4週間目に破碎試験を行った強度のことである。 []

【問 56】 材料の耐える応力度を許容応力度という。 []

【問 57】 一般に構造計算で見込む荷重、外力としては、次の5種を考える。 []

- (1) 固定荷重（自重）
- (2) 積載荷重
- (3) 積雪荷重
- (4) 風压力
- (5) 地震力

【問 58】 瞬間風速60m／Sの場合、地上10mの屋上に設置された広告板が受ける風圧 [] 力は、1 m²当たり 270kgである。

【問 59】 壁面の中央部より隅に近い場所では風圧は2倍程度になる。 []

【問 60】 屋外広告板が受ける風圧は、板面の大きさによって決まり、取付け位置と高さとは関係がない。 []

共通問題B — デザイン

【問 61】 左右対称（シンメトリー）の図柄は動きとリズム感がある。 []

【問 62】 マンセル記号による色の表し方は色相 明度／彩度（ ）である。 []

【問 63】 下記のマンセル色体系の色相記号と色相は一致している。
R—あか B—あお G Y—きみどり []

【問 64】 色の三属性の明度の表し方は、白と黒との間に灰色を段階的に配置し、その尺度としている。 []

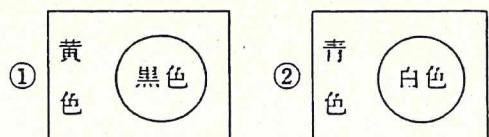
【問 65】 黄金分割の比率に近いのは、次のうち(1)と(3)である。 []

- (1) 3 : 5 (2) 16 : 49 (3) 1 : 1.618

【問 66】 赤色の補色関係にあるのは、次のうち①である。
① 黄色 ② 緑色 ③ 黒色 []

【問 67】 距離のある広告板の配色で、暗い地色に描く文字は明るい色で太く書くほど見やすい。 []

【問 68】 次の図柄の配色で、円が大きく見えるのは②である。 []



【問 69】 物体の立体感や奥行きは、透視図法による輪郭線のみでも出すことができる。 []

【問 70】 彩度の高いあざやかな色と彩度の低いにぶい色と並べた場合、あざやかな色は、にぶい色の影響を受けて、にぶい色に見える。 []

【問 71】 漢字とかな文字の混じった文字を広告板に書く場合には、わく内いっぱいに割付けて書くと、そろって見える。 []

【問 72】 寒色で明度の高いものほど、軽快な感じが得られる。 []

【問 73】 暖色系の色は寒色系の色よりも後に退って見えるので後退色という。 []

【問 74】 補色関係にある2色を混合すると、灰色に近い色をつくることができる。 []

- 【問 75】 同じ灰色でも白地の上の灰色は、黒地の上の灰色より暗く見える。 []
- 【問 76】 同じ幅の黒と白とでできているしま模様では、白より黒のほうが細く見える。 []
- 【問 77】 物体色（絵具や染料）の3原色は赤、黄、青であるが、光の3原色は赤、緑、 [] 青である。
- 【問 78】 同じ品物が色の違いによって、軽そうに感じたりするのは、色の色相の違い [] によって生ずる。
- 【問 79】 下に示す色の三属性の名称とその意味の組み合わせはすべて正しい。 []
色相－いろあい 明度－明るさ 彩度－あざやかさ
- 【問 80】 かなまじりの日本文を横書きする場合、個々の文字は、上辺をそろえるより [] は底辺をそろえたほうがよい。
- 【問 81】 下に示す漢字書体とその名称は、すべて正しい。
行書体 隸書体 かい書体 宋朝体
技能 技能 技能 技能
- 【問 82】 昼光色けい光灯で比色した効果は、自然光線で比色した場合と変わらない。 []
- 【問 83】 ロゴマークとは、ロゴタイプとシンボルマークの機能が合体されたものである。 []
- 【問 84】 シンボルマークは何かを視覚的に印象づけるために使われる。 []
- 【問 85】 屋外広告物が集中する地区の景観は、その街の個性を屋外広告が作り出すことになる。 []
- 【問 86】 自家広告の機能は広告性よりも標識性が尊重されなければならない。 []
- 【問 87】 われわれの正常な視覚体験は、すべて錯視にもとづいている。 []
- 【問 88】 平面上に描かれたものは、すべて地と図に分かれる性質をもっている。 []
- 【問 89】 形のプロポーションは、自由曲線による形態として評価される。 []
- 【問 90】 バランスはシンメトリーのものに強く要求される。 []
- 【問 91】 小さな色の点が隣接して配置されているとき、それらの色が混合されてみえる現象を加色混合という。 []

- 【問 92】 都市景観にとって屋外広告物のような人工物の色彩は、大きな影響力をもつている。 []
- 【問 93】 点と線が混在する画面を眺めたとき、それは混乱した様子となって視覚をまどわすことになる。 []
- 【問 94】 垂直線を強調するよりも、水平線を強調する構図の方が、緊張感がつよい。 []
- 【問 95】 屋外広告は、POP広告よりも販売促進広告としての効果が高い。 []
- 【問 96】 物を印画紙の上にのせて光をあてるとその影が写しとれる。この技法をフォトグラムという。 []
- 【問 97】 モンタージュとは、図柄の組合せによる象徴的な表現をいう。 []
- 【問 98】 抽象形態は、それ自体では物語をもっていないが、構成によって意味を視覚に変換させる効果をもつことができる。 []
- 【問 99】 線描きによる図がらでは、重量感のある表現は出来ない。 []
- 【問 100】 屋外広告板をデザインする場合、見せる距離を考慮して文字の大きさをレイアウトしなければならない。 []

共通問題C—関係法規・安全衛生

- 【問 101】 各都道府県および政令指定都市では、屋外広告物法に基づいて条例を制定し、[] 各地の実情に応じたより細かい規定を定めている。
- 【問 102】 美観風致の維持の観点から、屋外広告物の表示等を禁止されている地域には [] いかなる屋外広告物も表示することができない。
- 【問 103】 屋外広告物条例による広告物の許可期間は通常5年である。 []
- 【問 104】 一旦、許可を受けた屋外広告物は、許可期間が満了になった場合、自動的に [] 許可が更新される。
- 【問 105】 自己の営業所に自己の店名、または営業の内容を表示する屋外広告物は、屋 [] 外広告物条例によって規制されない。
- 【問 106】 鉄道、道路沿線の建植廣告板の面積、線路又は道路からの距離、廣告物相互 [] の距離の制限は屋外広告物法によって全国的に統一されている。
- 【問 107】 橋りょうに廣告物を掲出する場合は、屋外広告物法の規制を受ける。 []
- 【問 108】 冠婚葬祭などのために一時的に表示する廣告物でも、屋外広告物法による禁 [] 止区域内に表示することはできない。
- 【問 109】 屋外に掲出する廣告物の大きさ、形状、デザインなどは、屋外広告物法によ [] る規制を受けない。
- 【問 110】 商標・シンボルマークだけを表示した商店テントは、屋外広告物法の規制の [] 対象にならない。
- 【問 111】 高さ4.5mに満たない屋外廣告物は、建築基準法に基づく工作物確認申請は [] 不要である。
- 【問 112】 講演会、展覧会などの屋外廣告板で、その会場の敷地内に表示するものは、 [] 屋外廣告物法によっては禁止できない。
- 【問 113】 屋外廣告業を営む者は、その営業所ごとに講習会修了者等をおかなければな [] らない。
- 【問 114】 屋外廣告物の取付の際に足場の組立をする場合は、足場組立等の作業主任者 [] が必要である。

- 【問 115】 丸太足場の建地の間隔は1.8mくらいが適当である。 []
- 【問 116】 建物の張出し上部などの高所で、広告板の取付け作業を行う者は、命綱を用いなくてはならない。 []
- 【問 117】 屋外広告板を塗装する場合、風がなくて天候が快晴であっても、隣接するものを養生する必要がある。 []
- 【問 118】 公道上において屋外広告物の取付工事を行う場合には、道路を所管する警察署長の許可が必要である。 []
- 【問 119】 ガスや溶剤を扱う場所での鉄部のけれんには、鉄製のスクレーパを用いてはならない。 []
- 【問 120】 塗料が乾燥する場合は、溶剤の蒸発を伴うので、塗装作業場は常に通風をよくしておかなければならない。 []
- 【問 121】 有機溶剤取扱い業務に屋外広告業は該当しないので、中毒予防措置を講じる必要はない。 []
- 【問 122】 クリヤーラッカーは消防法による第2石油類に属する危険物である。 []
- 【問 123】 電気サインを製作する屋外広告業者は、通産局長に届け出をしなくてはならない。 []
- 【問 124】 JISの安全色彩使用通則により、危険標識はつぎの①である。
① 黄赤と黒 ②黄と黒 []
- 【問 125】 電圧が100Vの電気器具でも、感電死する危険はある。 []
- 【問 126】 アドバルーン掲揚は、火災予防条例の規定により許可申請を添えて、消防署に届け出なければならない。 []
- 【問 127】 展示装飾に使用するベニヤ合板は、防災処理を施したものを使用しなければならない。 []
- 【問 128】 工事1件の請負金額が300万円以上の屋外広告物を製作施工する場合は、建設業の許可を受けなければならない。 []
- 【問 129】 屋外広告工事について建設業の許可を受ける場合の建設工事の種類は「鋼構造物工事」である。 []
- 【問 130】 建設業の許可は、3年ごとに更新しなければならない。 []

選択問題 A—広告面ペイント仕上げ作業

- 【問 131】 塗料を調色する場合、原則として量の少ない色から量の多い色の順に加えて [] いくほうが、目的の色をつくりやすい。
- 【問 132】 淡い色を調色する場合には、まず見本色となっている有彩色を調合し、これ [] に白塗料を加えて調色するのがよい。
- 【問 133】 広告板の木わくへの布張りは、下端から順次くぎで止めていくのがよい。 []
- 【問 134】 布張り広告板は、枠の中ざんに布がふれないように枠造りをした方がよい。 []
- 【問 135】 木わく形広告板の外面全体を亜鉛鉄板でくるみ張りとした場合は、木わくが [] 腐食することはないから、水穴を設ける必要はない。
- 【問 136】 ベニヤ張り広告板のくぎの頭は、油性塗料を塗るときでも必ずニスでさび止めしなければならない。 []
- 【問 137】 木わくに亜鉛引鉄板を張る場合、酢酸ビニル系接着剤を塗布して釘止めすると強度が増す。 []
- 【問 138】 鉄くぎの頭がみえている広告板に合成樹脂エマルジョンペイントを塗る場合は、鉄くぎの部分にさび止めペイントを塗る必要がある。 []
- 【問 139】 屋外のシリコン入りペイント塗装面にカルプ文字を接着してもよい。 []
- 【問 140】 木製広告板面への塗装の工程は次のとおりである。
節止め→パテかい→下塗り→上塗り []
- 【問 141】 湿った木部の塗装では、ラック止めすれば塗装してよい。 []
- 【問 142】 金粉または銀粉の溶剤としては、ボイル油が最も適している。 []
- 【問 143】 短期間掲示する屋外広告板には、合板に紙をはり、合成樹脂エマルジョンペイントで仕上げる方法もある。 []
- 【問 144】 印刷したポスターの面に水性塗料で文字を書く場合には、文字を書く部分をアルコールでふくとよい。 []
- 【問 145】 ガラス広告板面に2色以上の色をタンポたたき仕上げする場合には、薄い色から濃い色の順に仕上げる。 []

- 【問 146】 ラワン合板の広告板面塗装仕上げをし、すぐ直射日光に当てるとき気泡ができるが乾燥すると消える。 []
- 【問 147】 木材の面に合成樹脂塗料を塗った場合、乾燥後、塗面に水ほうようのふくれが生じるのは、塗料の材質上の欠点によるためである。 []
- 【問 148】 合成樹脂塗料の溶剤としては、塗料用シンナーよりボイル油のほうが適している。 []
- 【問 149】 油性調合ペイントの塗膜にしわができるのは、ドライヤが不足している場合である。 []
- 【問 150】 油性調合ペイントにドライヤを多量に混合すると、合成樹脂ペイントよりも乾燥が早い。 []
- 【問 151】 油性調合ペイント仕上げの広告板の塗り替えで、赤色などのにじむおそれのあるときは、先にセラックニスを塗るとよい。 []
- 【問 152】 油性調合ペイントを使用して広告板面を群青色に仕上げる場合、すけを防ぐには、ペイントに少量の紺色のペイントを加えるとよい。 []
- 【問 153】 油性調合ペイントの2回塗り仕上げの場合、1回目の乾燥がふじゅうぶんな状態で2回目を塗ると、縮みが生じる。 []
- 【問 154】 亜鉛鉄板張り屋外広告板の塗装は、樹脂塗料で下塗りし、上塗りに油性塗料を用いると塗面の耐久力を増す。 []
- 【問 155】 亜鉛鉄板面の下塗材として速乾性塗料を用いると、塗面のはく離が起きやすい。 []
- 【問 156】 亜鉛鉄板面に油性ペイント塗装をする場合、亜鉛鉄板をリン酸5%液で下地処理をしておくと、塗面がはがれにくい。 []
- 【問 157】 亜鉛鉄板にメラミン樹脂ペイントを焼付け塗装する場合、下地処理はしなくてもよい。 []
- 【問 158】 メラミン樹脂塗料の焼付け温度は、80°C位である。 []
- 【問 159】 塩化ビニル樹脂ペイントは、油性調合ペイントに比べて耐薬品性に優れる。 []
- 【問 160】 アルミニウムペイントで塗装した鉄板面は、太陽熱をよく吸収する。 []

- 【問 161】 セラックニスの薄め液には、アルコールが用いられるが、シンナーを用いて [] もよい。
- 【問 162】 セラックニスは鉄製の下げかんに入れておいても変質しない。 []
- 【問 163】 ローラブラシは、ペイントのふくみが少ないと、塗面すべって回転しない [] ことがある。
- 【問 164】 ラッカーエナメルの吹付け塗装では、スプレーガンの吹付け距離を離すほど [] 塗膜が美しく仕上がる。
- 【問 165】 エアスプレーガンの塗料通路に空気が入ると、スプレーパターンは片方に寄 [] って変形を起こす。
- 【問 166】 ラッカーエナメルを塗るのに最も適しているはけは、腰の強い馬毛のはけで [] ある。
- 【問 167】 600 × 600mmの角ゴシック体の漢字をフリーハンドで書くには、幅20mm程度 [] の平筆が最も適する。
- 【問 168】 画筆の太さは、号数が小さくなるほど細くなる。 []
- 【問 169】 油性ペイント用はけの腰が弱くならないようにするには、新しいうちにはけ [] の部分を水づけしておくとよい。
- 【問 170】 寸筒ばけにへりぐせが生じないように使うには、はけ使いの際に縦、横とも [] 均一になるように使うとよい。

選択問題B—広告面プラスチック仕上げ作業

- 【問 171】 赤色のプラスチック板を蛍光灯で透視した時、昼光色と白色では色のイメージが変わる。 []
- 【問 172】 赤色のプラスチック板の上に黄色の文字を貼って透過照明したとき、文字の色には変化はない。 []
- 【問 173】 プラスチックで、地色が黒色、文字が黄色の透過照明広告板を制作する場合、次の加工方法のうち①がよい。
① 黄色の地板に黒色の板を切抜き、ベタ張りする。
② 黒色の板を切抜き加工し、文字の部分だけ黄色の板を裏に張る。
- 【問 174】 下記に示すプラスチックのうち、熱可塑性のものは、②と④である。
①エポキシ樹脂
②アクリル樹脂
③シリコン樹脂
④塩化ビニル樹脂
- 【問 175】 屋外で水銀灯の当る所ではプラスチック広告板は変色を2倍促進するので避けるべきである。 []
- 【問 176】 プラスチック広告板は荷重と温度が変形に最も大きな影響を与える。 []
- 【問 177】 乳白半透明板は、アクリルより塩化ビニルのほうが光源の透過率がよい。 []
- 【問 178】 エッティング加工の素材としてはアクリ板よりエンビ板の方が適している。 []
- 【問 179】 プラスチックによる透過サインにはシルクスクリーン印刷を使用できない。 []
- 【問 180】 透過サインの光源として最も適当なものはネオン管である。 []
- 【問 181】 プラスチック板のマスキング・ペーパー（保護紙）は加工の最後の段階まではがさない方がよい。 []
- 【問 182】 ネオンサイン広告板に用いる材としては、塩化ビニル樹脂板よりアクリル樹脂板のほうが燃えにくい。 []
- 【問 183】 同一の広告板を大量に生産するには、塩化ビニルの成型による方法は適さい。 []

- 【問 184】 プラスチック板と発泡スチロール板の合わせ文字を作成するには、下記に示すような方法がよい。〔 〕
ベニヤ合板→プラスチック板→ベニヤ合板→発泡スチロール板→ベニヤ合板の順に合わせて切り抜いた後、プラスチック板と発泡スチロール板を張り合わせる。
- 【問 185】 プラスチック板にペイントで文字を書く場合、乾いた布地等でからぶきして〔 〕から書くとよい。
- 【問 186】 プラスチック板の上に文字を張る場合には、なるべく文字の全面に接着剤をつけるのがよい。〔 〕
- 【問 187】 広告板に接着剤で張り付けた切抜き文字を張り替える場合、塩化ビニル板のものよりアクリル樹脂板のもののはうがはがしにくい。〔 〕
- 【問 188】 アクリル板の接着剤は、塩化メチレンを使用する。〔 〕
- 【問 189】 アクリルを接着する場合、10cm²の面積には10ccの接着剤が適している。〔 〕
- 【問 190】 プラスチック板のチョーキング現象とは、たわみ、ひずみが入ることである。〔 〕
- 【問 191】 60×182 cmの両面透過サイン箱形広告板の鉄骨わく材としては、L-40×40×5 mmの鋼材が適する。〔 〕
- 【問 192】 プラスチック板を用いた大形突出し箱形広告板は、風圧により板面が湾曲するおそれがあるので、内部から補強しておくのがよい。〔 〕
- 【問 193】 箱形照明広告板に内装するけい光灯を並行して取り付ける場合、けい光管の間隔を250mm、板面との間を100~120mmぐらいで取り付けるのがよい。〔 〕
- 【問 194】 防水処理し、水抜き孔をつけた屋外箱形照明広告板の内部に取り付ける照明器具は、必ずしも防水用のものでなくてもよい。〔 〕
- 【問 195】 プラスチック板を広告板枠に入れる場合、収縮、膨張のための巾ヒリは、長手の方向にだけ見ればよい。〔 〕
- 【問 196】 けんどん式（落し込み式）のはめ込み板を取り付ける額縁は、上下のみぞの深さを同じにほっておくとよい。〔 〕
- 【問 197】 木枠にプラスチック板をビス止めする場合は、ビス穴のゆとりはなくともよい。〔 〕
- 【問 198】 プラスチック板の穴明けドリルの刃先の角度はすくい角と反比例する。〔 〕

- 【問 199】 プラスチック板を切断する場合の丸鋸の回転数は、周速 3,000／分である。 []
- 【問 200】 塩化ビニル板を切断するには、ひっかきを用い、切断後はきさげで面取りするよい。 []
- 【問 201】 アクリル板で文字を切り抜いた時、切り屑が付着するのはミシンの歯が不適当だからである。 []
- 【問 202】 レーザー光線でカットしたアクリルの文字は切口を研磨する必要がある。 []
- 【問 203】 アクリル板は、溶接ができないが、塩化ビニル板は溶接ができる。 []
- 【問 204】 プラスチック板の加熱折曲げ加工をする場合、加熱部は水で冷却すると、出来ばえがよい。 []
- 【問 205】 プラスチック板の収縮、膨張に対する配慮は、縦横とも必要である。 []
- 【問 206】 パイプヒーターには、ニクロム線をがい管に通し、アスペストに包んで金属パイプに通したものを用いる。 []
- 【問 207】 プラスチック板の折曲げ加工に使用するヒーターは 2 m当たり 200W～300W が適当である。 []
- 【問 208】 塩ビ板の折曲げ加工に適するヒーターの温度は、100 °C前後である。 []
- 【問 209】 角ヒーターは、曲げRが非常に小さいので薄物の曲げ加工に適する。 []
- 【問 210】 温度調節には、スライダックス、テンピルステック等がある。 []

選択問題C—広告面粘着シート仕上げ作業

- 【問 211】 粘着シートには屋外用、屋内用があるので、使用上注意しなければならない。 []
- 【問 212】 ステンドグラスの広告面技法には、ステンドグラス用インクまたは粘着シートを使用すればよい。 []
- 【問 213】 ガラス面や高所の平滑な壁面には粘着シートを用いるとよい。 []
- 【問 214】 粘着シートの厚さは、のりの厚さを含め 300～500 ミクロンが普通である。 []
- 【問 215】 粘着シートの接着力はどのメーカーも同じである。 []
- 【問 216】 粘着シートの接着強度は24時間後～7日くらいで最高に達する。 []
- 【問 217】 ウィンド装飾に使われる一般の粘着シートの耐用年限は、色によっても差があるので、一概に決めるることはできない。 []
- 【問 218】 粘着シートの赤からオレンジにかけての色は日光で退色するが、蛍光灯などの人工光では退色しない。 []
- 【問 219】 ポリエステル系の粘着シートをアクリルに貼ると、あとで気泡ができることが多い。 []
- 【問 220】 転写シートは原寸原稿を粘着シートに貼るための材料である。 []
- 【問 221】 テント用粘着シートはテント地以外には施工できない。 []
- 【問 222】 テント生地（綿布）に専用の粘着シートを貼る場合も、スキージで貼れば良い。 []
- 【問 223】 粘着シートの冬期作業では水抜きを完全にする必要がある。 []
- 【問 224】 ワイヤー入り硝子面に目かくしとして粘着シートを貼る場合は、裏側からであれば貼ってよい。 []
- 【問 225】 粘着シートにはスクリーンプロセス印刷はできない。 []
- 【問 226】 粘着シートの上には、ラッカー系の塗料で文字を書いた方がよい。 []
- 【問 227】 亜鉛引鉄板の表面に白い錆が発生していても、屋外用の粘着シートなら、そのまま直接貼りつけてよい。 []

- 【問 228】 粘着シートの器工具であるスキージには、ヘラの部分の硬さが何種類があるが、やわらかすぎると気泡を抜きづらい。 []
- 【問 229】 ライトテーブルは、粘着シートの原稿製作に用いられるが、同じ文字や図形を切り抜く時に使用すると便利である。 []
- 【問 230】 20φ～150 φまでの円は市販されている円切りカッターを使用するときれいに抜ける。 []
- 【問 231】 粘着シートで同じ文字や図形を多量に作る時は型を作って打ち抜くが、30枚程度まではシートを重ねてミシンで切り抜くこともできる。 []
- 【問 232】 粘着シートのカッティングで、小さな円はテンプレート（円定規）と軸（ホルダー）に付けた木綿針で簡単に切り抜くことができる。 []
- 【問 233】 粘着シートを加工する場合のシンボルマークやロゴタイプの原稿は、原寸原稿がのぞましいが、縮尺の原稿しかないときは、その清刷原稿から拡大して使用するとよい。 []
- 【問 234】 原寸原稿を粘着シートの上に貼る時は、ペーパーセメントを適当に薄め、しばらくおいたもので貼るとよい。 []
- 【問 235】 軽い3次曲面に粘着シートを貼る場合はドライヤーなどであたためながら貼るとなじみやすい。 []
- 【問 236】 新しい店舗のガラスには、そのまま粘着シートを貼ってもよい。 []
- 【問 237】 ガラス等のように水をはじく被着体に粘着シートを貼る場合は、水に微量の塗料シンナーを入れるとよい。 []
- 【問 238】 複雑な凹凸のある被着体に粘着シートを貼る場合は、水に洗剤を多く入れるとよい。 []
- 【問 239】 塩ビフィルムの粘着シートはよく伸びるので、貼作業のときはできるだけ引き伸ばしながら貼るとよい。 []
- 【問 240】 粘着シートを貼る場合は、小さい文字でも洗剤入りの水をつけて貼るとよい。 []
- 【問 241】 粘着シートを貼る場合、美観をよくするために継ぎ目は突き合わせにするとよい。 []
- 【問 242】 粘着シートを上下につなぐ時は、目線に近い方を上に重ねる。 []

- 【問 243】 アクリル板・ガラス面のシート張りのときに生ずる気泡（ふくれ）は乾燥すると自然に密着して消える。 []
- 【問 244】 粘着シートの張り込み時、圧着用具で気泡を外へ出せなくなった場合は針などで穴をあけて押し出す。 []
- 【問 245】 転写シートを使用して貼った場合、転写シートは面に対し垂直に引いて剥がす。 []
- 【問 246】 ガラス面に貼った粘着シートを切る時は、新しい刃ではガラスにキズをつけるので刃先を少し欠いた方がよい。 []
- 【問 247】 シート文字を貼った後、ペーパセメントをうすくつけておくと耐久性がよい。 []
- 【問 248】 シートをはがす場合は、カッターナイフで切り込みを入れ、細く引きやすい状態にしてはがすとよい。 []
- 【問 249】 粘着シートを剥離した時、塩ビ板よりガラス板の方が接着剤が残りやすい。 []
- 【問 250】 アクリル板にのりが残った場合は、ラッカーシンナーでふきとる。 []